



京都大学

第14回 市民防災講座 - 災害リスクを考える -

参加無料

地震・津波災害に備える

【日時】平成29年10月21日(土) 13:30~16:15

【場所】神戸三宮東急REIホテル ボールルーム (3F)

司会 京都大学大学院 工学研究科 准教授 伊豫部 勉

JR三ノ宮駅東口から徒歩2分

主催者挨拶

京都大学大学院 工学研究科

教授 杉山 友康

講演

●「北風の防災」から「太陽の防災」へ

関西大学 社会安全学部

准教授 奥村 与志弘

●地震による液状化災害に備えて

関西の地盤情報に基づく防災ハザードマップ

開発研究委員会(地盤工学会関西支部)

大阪市立大学大学院 工学研究科

教授 大島 昭彦

●効果的な防災活動を考える

立命館大学 政策科学部

准教授 豊田 祐輔

事例紹介

●防災・減災活動の実践

兵庫県 企画県民部 防災企画局 復興支援課

生活支援班長 藤本 剛司

●JR西日本の地震・津波対策の取り組み

西日本旅客鉄道株式会社

執行役員 近畿統括本部 神戸支社長 前田 洋明



阪神・淡路大震災「1.17の記録」
田中町1丁目 天上川より北を望む



阪神・淡路大震災「1.17の記録」
磯上通5丁目付近から南を望む

写真提供:神戸市

※講演者及び講演内容が変更となる場合があります。

【定員】 200名 (先着順・要事前申込)

【申込方法】 参加希望の方は、下記URLもしくはQRコードよりホームページにアクセスして登録していただくか、必要事項を記載のうえメールまたはFAX(裏面参照)でお申込ください。

必要事項 ①代表者氏名 ②電話番号 ③住所

④職業(会社員(会社名)/団体職員/公務員/自営業/学生/主婦/その他)

⑤記事欄(2名以上同時にお申込される場合、代表者以外の氏名、その他要望事項)

※個人情報保護法に基づき他の目的には利用いたしません。

ホームページURL <<http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/lab/>>

メール: info@ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp FAX:075-383-3410

【申込締切】 10月16日(月)

【問合せ先】 京都大学災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座

TEL:075-383-3114(平日10時~17時)



主催: 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座

後援: 国土交通省近畿地方整備局/兵庫県/神戸市/公益社団法人地盤工学会関西支部/

公益社団法人土木学会関西支部/神戸新聞社

協賛: 西日本旅客鉄道株式会社



京都大学第 14 回市民防災講座

— 災害リスクを考える — 10月21日(土)

京都大学災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座では、JR西日本からの寄附により、自然災害に対する鉄道や道路などの社会基盤設備の総合的管理技術、交通規制といったソフト対策技術の研究を進めています。併せて市民の皆様への防災に対する意識の向上と、避難時の行動や住民同士の協力の重要性を理解していただくことを目的に市民防災講座を企画しました。

講演

- 「北風の防災」から「太陽の防災」へ
関西大学 社会安全学部 准教授 奥村 与志弘

東日本大震災を経験した今、国難災害も現実味を帯びた脅威として認識されています。しかし、防災意識は維持が困難なものであるため、恐れるという意識だけでいつ起こるか分からない将来の巨大災害の犠牲を減らすことは容易ではありません。そこで、今、求められているのは「北風」ではなく「太陽」のような発想なのです。

- 地震による液状化災害に備えて
関西の地盤情報に基づく防災ハザードマップ
開発研究委員会(地盤工学会関西支部)
大阪市立大学大学院 工学研究科 教授 大島 昭彦

まず、液状化現象とは何かを知るために、東日本大震災で被災した千葉県浦安市の事例を紹介します。次に、南海トラフ巨大地震に備えて、関西圏地盤情報データベースに基づく地盤モデルによる関西地域の液状化危険度の予測結果を示し、「地下水位低下」による対策方法を紹介합니다。

- 効果的な防災活動を考える
立命館大学 政策科学部 准教授 豊田 祐輔

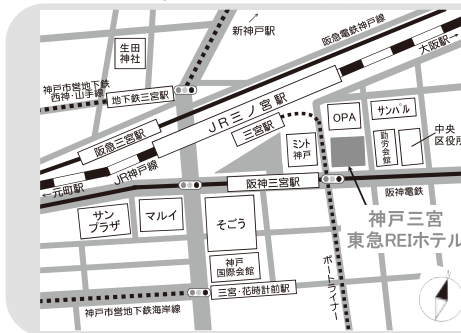
防災訓練といえば決められた手順に従って動作を確認するのが主流で、毎年同じ内容でマンネリ化することが課題となっています。本講演では、課題に直面することで自ら対応を考える演習など、工夫して実施されてきた防災活動の紹介とともに、これらの活動に共通する要素について説明します。

地震・津波災害に備える

事例紹介

- 防災・減災活動の実践
兵庫県 企画県民部 防災企画局 復興支援課
生活支援班長 藤本 剛司
兵庫県では、県民、団体等とともに、ひょうご安全の日推進県民会議を設置し、地域防災力の向上に取り組んでいます。本年1月には、個人・地域・企業の各主体が自ら考え、災害に備える取組指針として新ひょうご防災アクションを策定しました。また、兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)について紹介します。

- JR西日本の地震・津波対策の取り組み
西日本旅客鉄道株式会社
執行役員 近畿統括本部 神戸支社長 前田 洋明
JR西日本では、今後発生が予想されている南海トラフ巨大地震に備え、様々なハード・ソフトの取り組みを実施しています。今回は阪神・淡路大震災以降の地震対策や今後想定される南海トラフ巨大地震や津波からお客様の安全を確保するための取り組みについて紹介します。



会場
神戸三宮東急REIホテル
ボールルーム (3F)
〒651-0096
兵庫県神戸市中央区
雲井通6-1-5
(JR三ノ宮駅東口から
徒歩2分)

FAX申し込み用	①代表者氏名	(フリガナ) (氏名)	②電話番号	
	③住所	〒 - 都道府県	市区町村	
	④職業	該当する職業を○で囲んでください。 1.会社員(会社名:) 2.団体職員 3.公務員 4.自営業 5.学生 6.主婦 7.その他()		
	⑤記事欄	2名以上同時にお申し込みの場合は、こちらに氏名、フリガナ、職業をご記入ください。		

※ 個人情報保護法に基づき他の目的には利用いたしません。 FAX : 075-383-3410